

あいち山村振興ビジョン2020

～「やま・ひと・なりわい」を継承し、未来を創る～

平成28年2月



「あいち山村振興ビジョン 2020」の策定にあたって

本県では、平成21年3月に三河山間地域の長期・総合的な振興の指針となる「あいち山村振興ビジョン」を策定し、三河山間地域の振興を積極的に進めてまいりました。

しかしながら、依然として都市部への人口流出や少子・高齢化の進展、産業活動の低迷など、地域の活力低下が懸念される状況が続いており、引き続き、三河山間地域の活力を再生・創出していくことが重要となっております。

そうした中、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が公布・施行され、同年12月に、国は、2060年に1億人程度の人口を確保するとした長期ビジョンと総合戦略を閣議決定しました。

これを受け、国を挙げて地方創生に向けた取組が進められているところであり、また、三河山間地域では、新東名高速道路の「浜松いなさジャンクション」から「豊田東ジャンクション」までの開通や三遠南信自動車道の延伸など地域を大きく変化させるプロジェクトも着実に進展しております。

このような状況を踏まえ、本県では、現行の「あいち山村振興ビジョン」に替わる新たなビジョンとして、2030年頃の地域の姿を展望し、2020年を目標とする「あいち山村振興ビジョン2020～『やま・ひと・なりわい』を継承し、未来を創る～」を策定しました。

このビジョンでは、「山の暮らし」、「山の魅力・活力」、「都市との交流・連携」の3つの展望のもとに「愛知の元気の源・豊かな山の暮らしの実現」を2030年の将来像として設定いたしました。

そして、これらの将来像を実現するため、「山里のひと・なりわいをつくる」、「地域資源を磨き上げる」など5つの柱立てで整理した施策を目標年次である2020年に向けて重点的に展開していくことを明らかにいたしました。

今後は、これらの重点的施策を地域と一体となって着実に進め、ビジョンの副題に掲げたとおり、「やま」の自然や伝統文化、そこに住む「ひと」の暮らしや結びつき、さらに山里ならではの特性や資源を活かした「なりわい」、それらを県民がしっかりと「継承」し、大切に守り伝えながら、一方で時代や環境の変化に対応して、新たな展開や果敢な挑戦により、力強く「未来」を創り出してまいりたいと考えております。

皆様方のより一層の御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 2 月



愛知県知事 大村 秀章

目 次

I 策定の趣旨	1
II 基本的な考え方	2
(参考)「あいち山村振興ビジョン」の主な成果	5
III 将来像と重点的施策	6
IV 重点的施策の展開	8
1 山里のひと・なりわいをつくる	8
2 地域資源を磨き上げる	10
3 安心・安全な地域社会をつくる	12
4 都市との絆を深める	14
5 持続可能な社会基盤を整備する	16
V ビジョンの推進に向けて	19